

令和7年度アクションプラン 事業評価シート【行政改革推進委員会審査用】

1 基本情報

事業名		No.		担当課	関係課	
事業区分	会計区分	予算費目	款	項	目	
施策体系	戦略的施策 <input type="checkbox"/>			行政改革大綱		
根拠法令等				事務区分		
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度( 年度)		<input type="checkbox"/> 単年度繰返( 年度~継続)		<input type="checkbox"/> 複数年度( 年度~ 年度)	

2 事業の概要・実施内容

事業目的・事業実施効果		
事業概要(全体計画)		
事業の対象	(対象数: )	
決算年度の主な取組	当初計画	取組実績(見込)
事業実施手法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 <input type="checkbox"/> 負担金・補助金 <input type="checkbox"/> その他 ( )	

3 事業費・財源内訳

	R6決算	R7予算現額	R7決算(見込)	R8予算
事業費(千円)	0	0	0	0
12委託料				
14工事請負費				
18負担金補助及び交付金				
その他				
財源(千円)	0	0	0	0
特定財源				
市債				
その他				
一般財源				

4 事業の成果・評価

「めざす状態」実現に寄与したこと(事業の成果)			
KPI	指標名(単位)	指標1	指標2
	目標値		
	実績値		
	目標値と実績値の差分についての理由		
行革評価(行政改革大綱に基づく評価)			
コスト意識(費用対効果・財源確保)	評価	評価した根拠・理由	
目的思考(施策目標への寄与)	評価	評価した根拠・理由	
多様な主体との協創(市民等への意見把握・民間活力等の活用)	評価	評価した根拠・理由	
デジタル・データ活用(デジタルの活用・EBPM)	評価	評価した根拠・理由	
総合評価	評価	評価した根拠・理由	
事業実施上の課題・残された課題			
今後の取組方針		判断理由	

5 行政改革推進委員会の評価

総合評価
今後の取組方針に対する評価・コメント

令和7年度アクションプラン 事業評価シート【行政改革推進委員会審査用】

1 基本情報

担当課 \_\_\_\_\_ 関係課 \_\_\_\_\_

事業名 No.			
事業区分	会計区分	予算費目款	項 目
施策体系	戦略的施策 <input type="checkbox"/>		行政改革大綱
根拠法令等	事務区分		
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度( _____ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度繰返( _____ 年度~継続) <input type="checkbox"/> 複数年度( _____ 年度~ _____ 年度)		

1 該当する施策及び施策の方向性、行政改革大綱の目指すべき方向性等を記載してください。なお、事業期間については和暦(昭和:S、平成:H、令和:R)で記載してください。  
※令和7年度アクションプランの記載と必ず整合させてください。

2 事業の概要・実施内容

事業目的・事業実施効果 \_\_\_\_\_

事業概要(全体計画) \_\_\_\_\_

事業の対象 \_\_\_\_\_ (対象数: \_\_\_\_\_)

決算年度の主な取組	当初計画	取組実績(見込)
	_____	_____

事業実施手法  直接実施  委託・指定管理  負担金・補助金  その他( \_\_\_\_\_ )

2 事業の目的・事業実施による効果、事業概要等を具体的に記載してください。

3 決算年度における当初予定していた取組内容及び実際に実施した取組実績を記載してください。  
※取り組んだ内容が分かるよう具体的に記載してください。  
※特に予算編成に当たって積算根拠となる件数や人数等がある場合は必ず記載してください。  
(例:チラシ作成〇円×●枚、謝礼〇円×●人)

4 事業実施手法について、該当するものを全て選択してください。  
(例)「直接実施」…報償費や需用費、役員費等  
「委託・指定管理」…委託料及び工事請負費  
「負担金・補助金」…負担金補助及び交付金  
「その他」…人件費以外の歳出を伴わず、職員によってワークショップやイベントを実施する取組

3 事業費・財源内訳

	R6決算	R7予算現額	R7決算(見込)	R8予算
事業費(千円)	0	0	0	0
12委託料				
14工事請負費				
18負担金補助及び交付金				
その他				
財源(千円)	0	0	0	0
特定財源				
市債				
その他				
一般財源				

5 当該事業に係る事業費、財源について記載してください。  
(例)「特定財源」…国・県補助金、基金、使途が限定された寄附、ふるさと納税等  
「市債」…起債による財源  
「その他」…収入や使用料等

4 事業の成果・評価

「めざす状態」実現に寄与したこと(事業の成果)

KPI	指標名(単位)	指標1	指標2
	目標値		
	実績値		
	目標値と実績値の差分についての理由		

行政評価(行政改革大綱に基づく評価)

コスト意識(費用対効果・財源確保)	評価	評価した根拠・理由
目的思考(施策目標への寄与)	評価	評価した根拠・理由
多様な主体との協創(市民等への意見把握・民間活力等の活用)	評価	評価した根拠・理由
デジタル・データ活用(デジタルの活用・EBPM)	評価	評価した根拠・理由
総合評価	評価	評価した根拠・理由

事業実施上の課題・残された課題 \_\_\_\_\_

今後の取組方針 \_\_\_\_\_ 判断理由 \_\_\_\_\_

6 令和7年度アクションプランに記載されたKPIのうち、主要なものを2つまで記載してください。  
目標値にはR7アクションプランに記載されたR7年度の目標値を、実績値にはそれに対応する実績値を記載してください。なお、実績値が未確定の場合は(見込)又は(〇月〇日時点)と記載してください。  
差分についての理由は、プラスでもマイナスでも記載してください。

7 行政改革大綱に定める「4つの行動指針」に基づく評価及び総合評価を下記の5段階で選択し、その評価の根拠や理由を記載してください。なお、該当なしの場合においても、その判断根拠や理由を記載してください。  
「A」…高い成果が得られた  
「B」…予定どおりの成果が得られた  
「C」…一定の成果が得られた  
「D」…やや不十分な成果にとどまった  
「E」…成果は不十分であった  
「-」…該当なし

8 今後の取組方針について、下記の5つ中から選択し、その判断理由を記載してください。  
※総合評価と今後の取組方針が矛盾する場合には、その理由を具体的に記載してください。  
「拡大」…主に予算規模を拡大して実施  
「現状維持」…現状の事業内容、予算規模を継続して実施  
「改善」…予算規模の縮小を含め、事業目的や全体計画等を変更して実施  
「廃止」…事業自体を実施しない  
「完了」…令和7年度で事業が完了

5 行政改革推進委員会の評価

総合評価 \_\_\_\_\_

今後の取組方針に対する評価・コメント \_\_\_\_\_

令和7年度アクションプラン 事業評価シート【行政改革推進委員会審査用】

1 基本情報		担 当 課 企画政策課			関 係 課 全課		
事業名	No. 6	第6次生駒市総合計画の推進					
事業区分	継続	会計区分	一般会計	予算費目	款 2	項 1	目 6
施策体系	IV	行政経営	戦略的施策		<input type="checkbox"/>	行政改革大綱	(1)、(4)
根拠法令等	生駒市自治基本条例					事務区分	自治事務
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度(            年度) <input type="checkbox"/> 単年度繰返(            年度～継続) <input checked="" type="checkbox"/> 複数年度(平成31 年度～ 令和21 年度)						

2 事業の概要・実施内容

事業目的・事業実施効果	まちづくりの指針である総合計画を、市民等に周知し浸透させるとともに、PDCAサイクルによる適切な進行管理を行うことで、第6次総合計画で掲げる将来都市像の実現に近づける。		
事業概要(全体計画)	まちづくりの指針として市民等との共有を進めるとともに、社会情勢に対応した計画とするため、毎年の進行管理及び第3期基本計画の策定に向けた取組を進める。		
事業の対象	生駒市民 (対象数: - )		
決算年度の主な取組	当初計画	取組実績(見込)	
	第2期基本計画の共有・進行管理 ▶共有に向けた冊子の作成 3,000千円 ▶総合計画審議会等 613千円 ▶市民実感度調査 3,200千円	第2期基本計画の共有・進行管理 ▶共有に向けた冊子の作成 2,970千円 ▶総合計画審議会等 107千円 ▶市民実感度調査 2,131千円	
事業実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 <input type="checkbox"/> 負担金・補助金 <input type="checkbox"/> その他 (            )		

3 事業費・財源内訳

	R6決算	R7予算現額	R7決算(見込)	R8予算
事業費(千円)	12,429	6,813	5,208	2,025
12委託料	11,383	6,200	4,059	1,000
14工事請負費				
18負担金補助及び交付金				
その他	1,046	613	1,149	1,025
財源(千円)	12,429		5,208	2,025
特定財源				500
市債				
その他				
一般財源	12,429	6,813	5,208	1,525

記載例

4 事業の成果・評価

「めざす状態」実現に寄与したこと(事業の成果)	本計画を市民等に共有するための冊子を作成するとともに、総合計画審議会及び行政改革推進委員会において本計画の適切な進行管理方法に関する審議を行った。また、本計画に位置づけた指標等の動向を把握するため、市民実感度調査を行った。		
KPI	指標名(単位)	指標1 生駒市への転入超過人口(純移動数)	指標2 「住んでいる地域が住みやすい」と感じている市民の割合
	目標値	40(人)	68(%)
	実績値	未計測	68.4(%)
	目標値と実績値の差分についての理由	-	-
行革評価(行政改革大綱に基づく評価)			
コスト意識(費用対効果・財源確保)	評価	B 評価した根拠・理由 審議会の開催回数を精査するとともに、計画書冊子の作成部数については見積比較を十分に行い、費用対効果の高い事業実施を心がけた。	
目的思考(施策目標への寄与)	評価	B 評価した根拠・理由 市民実感度調査においては、今後の政策形成における基礎資料となるよう、調査結果の分析に努めた。	
多様な主体との協創(市民等への意見把握・民間活力等の活用)	評価	B 評価した根拠・理由 施策・事業の最適化に活用するため、市民実感度調査において各施策の指標に定めた項目の数値や各施策目標に対する実感度等を調査した。	
デジタル・データ活用(デジタルの活用・EBPM)	評価	C 評価した根拠・理由 基本構想に掲げるEBPMの推進にあたり、環境保全課と協働でランダム化比較試験を1件実施した。	
総合評価	評価	B 評価した根拠・理由 ランダム化比較試験においては、実証実験のサンプル数の問題から横展開できる精度の結果を得ることはできなかったが、その他の取組においては予定どおりの成果を得ることができた。	
事業実施上の課題・残された課題	将来都市像の認知・共有については非常にハードルが高く、認知度の向上に向けて様々な場所・手段によるPRが必要である。		
今後の取組方針	現状維持	判断理由・コメント 令和6年度における各施策の取組状況評価を行い、PDCAサイクルによる適正な進行管理を行うとともに、将来都市像の認知・共有に向けたPR動画を作成し、市民等への周知を積極的に行う。	